

2024年5月20日

各位

株式会社北洋銀行

## 釧路市のILO 産業分析を行います

～地域の課題と優先的に強化すべき産業を明確化。成長戦略を策定～

北洋銀行(頭取 津山 博恒)は、ルートエフ株式会社(代表取締役 大庫 直樹 本社:東京都)と共に、釧路市の「ILO 産業分析」(※)を実施します。

北洋銀行と釧路市は、2015年に地域経済の活性化に資する事業などの実施において、積極的な連携および協力を行う協定を締結しております。今般のILO 産業分析を通じ、地域の課題と優先的に強化すべき産業を明確化し、2025年2月を目途に成長戦略を策定し、釧路市の発展に寄与します。

当行は、広域や同規模都市の比較モデル構築に向けた産業分析を通じて、北海道の地方創生に貢献して参ります。

※ILO 産業分析とは、域内の産業を「Inbound型・他地域から需要を呼び込む」「Local型・地産地消」

「Outbound型・他地域市場を狙う」に分け付加価値を分析し、地域の産業別特徴や成長産業を明確化する分析手法。内閣府特命担当大臣(地方創生担当)より、『地方創生に資する「金融機関等の「特徴的な取組事例」』に採択・表彰を受けるなど高い評価を得ております。

### 【ILO 産業分析のイメージ】



以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。